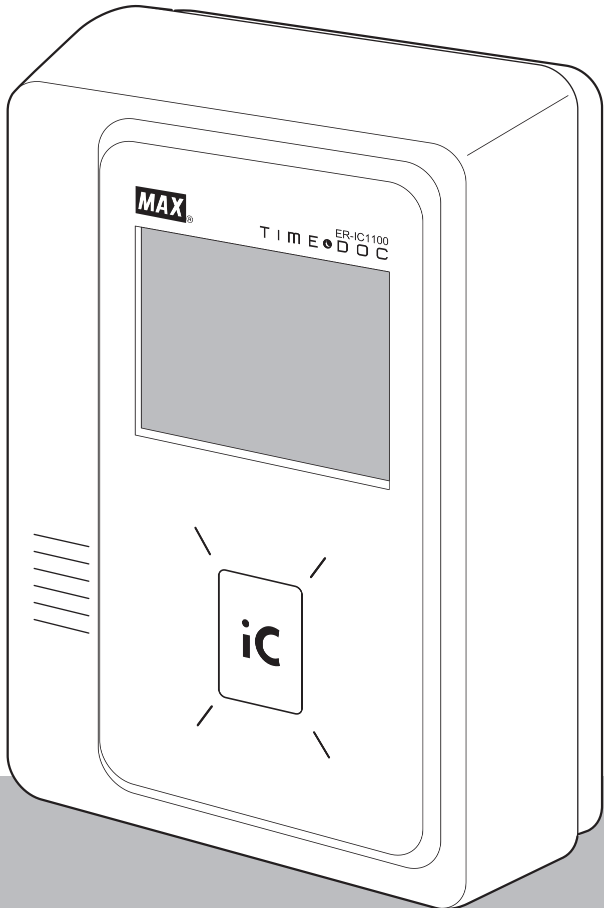
マックス

TIME DOC

マニュアル



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

はじめに

この度はマックス　ネットワーク型タイムレコーダ TIME DOC（タイムドック）をご購入いただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この装置は情報処理機器であり、電気用品安全法で指定されているタイムレコーダ（電動力応用機器）とは、異なります。

- 本装置は、電波法施行規則第46条に基づく誘導式読み書き通信設備の型式指定を受けた基板ユニットを内蔵しています。
  総務省指定 第AC-08039号（NM07-C-3V）
  13.56MHzの電波を使っていますので、使用する場所などによっては、混信が発生することがあります。そのため、導入に当たって、事前に確認されることをお願いします。特に、微弱電波を取り扱う電波研究所、医療設備に影響を与えることがありますので、注意してください。
- 本装置は、電波を利用しているため人体に影響を与えるおそれがあります。本装置を人体に密着させたり、必要以上に人体に長時間近づけないようにしてください。特に植込み型医療機器装着者は、装着部位を本リーダライタのアンテナ部分より22cm以内に近づかないでください。

- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気付きのことがございましたらご連絡ください。
- 万一、本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社では、一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い　機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

メモ　操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照　説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

表示について

⃠	「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
△	「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
●	「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

⚠警告

本機は絶対に**分解または改造しない**でください。火災、感電、故障の原因となります。

本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。

傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わないでください。火災・感電・故障の原因となります。

電源はAC100V専用コンセントを使用してください。
100V以外の電源を使用すると本機が故障したり火災、感電の原因になります。

電源は直接コンセントからとり**タコ足配線はしない**でください。火災の原因になります。

電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。電源コードに傷がついて火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

水､薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。

故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

本体は必ず専用スタンドに設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。壁に掛けて使用する場合は、本機の重さを十分支えられる壁に**しっかりと固定してください**。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

本体カバー部をあけたとき、USBメモリ以外にプラスチックシートで覆われた基板、電装部に触れないでください。感電の恐れがあります。

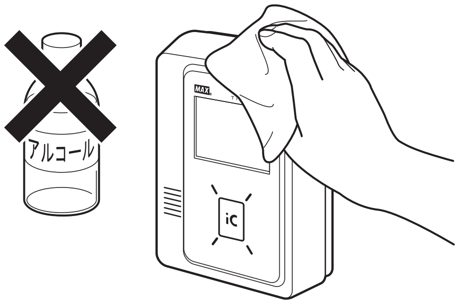
⚠警告

	大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）と**コンセントは共用しない**でください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
	紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、**電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください**。コードが破損して火災や感電の原因になります。
	本機を専用スタンドに設置したり、壁に掛けたりする時や、それらから外す時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
	設置場所を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源プラグをつないだまま移動させるとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。
	パソコンやUSBメモリに保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。予めご了承ください。
	本体カバーの開閉時には手等をはさまないように注意してください。
	本機を移動させる時は、必ず本体カバーを閉め、本体底部を持って運んでください。落下等でけが、故障の原因になります。
	データの出力もしくは読み込み中に、**振動や衝撃を与えたり、USBメモリを取り出さないでください。**故障やデータ破壊の原因になります。

使用上の注意

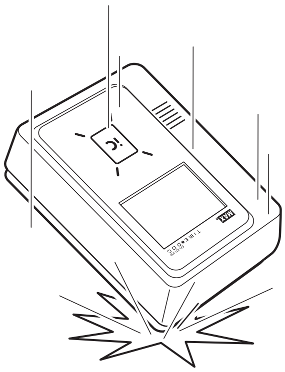
機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

● 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。
機械が変形したり、変色することがあります。



● トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。
- 直接日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
- ホコリや湿度の多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で使用しないでください。
- 温度が-20℃以下、60℃以上になる場所に保管しないでください。
- 結露する場所で使用及び保管しないでください。

● 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。



● 液晶タッチパネルを強く押さないでください。割れることがあります。
● ICカードは専用のもの、あるいは弊社SEが動作確認を行ったものをお使いください。その他のものをご使用になると正常に動作しない場合があります。
● USBメモリは付属のものをご使用ください。他のUSBメモリをご使用になった場合の動作は保証いたしておりません。セキュリティ保護機能付きのUSBメモリは使用できません。
● タッチパネルはカードの角やボールペンなどで操作しないでください。必ず指あるいは付属のタッチペンで操作してください。故障の原因となります。

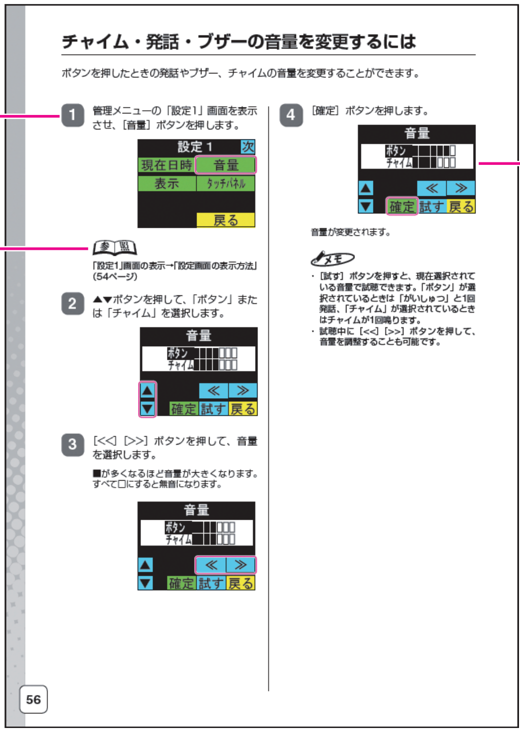
本書の見かた

操作手順

説明している順序で操作してください。

参照

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。



チャイム・発話・ブザーの音量を変更するには

ボタンを押したときの発話やブザー、チャイムの音量を変更することができます。

1 管理メニューの「設定1」画面を表示させ、[音量] ボタンを押します。

参照

「設定1」画面の表示→「設定画面の表示方法」(54ページ)

2 ▲▼ボタンを押して、「ボタン」または「チャイム」を選択します。

3 [<<◁ ▷>>] ボタンを押して、音量を選択します。

■が多くなるほど音量が大きくなります。すべて□にすると無音になります。

4 [確定] ボタンを押します。

音量が変更されます。

メモ

・[試す] ボタンを押すと、現在選択されている音量で試聴できます。「ボタン」が選択されているときは「がいしゅつ」と1回発話、「チャイム」が選択されているときはチャイムが1回鳴ります。

・試聴中に [<<] [>>] ボタンを押して、音量を調整することも可能です。

56

画面例

画面全体または画面の一部を表しています。

▶ 本書の表記について

本書では以下の記号を使用しています。

お願い	機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
メモ	操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。
参照	説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。
設定ツール	この機能を使用するには、設定ツールによる設定が必要です。

▶ 設定例について

本機では、設定ツールを使用して画面に表示させるボタン名や機能を変更できます。本書で説明している内容は一般的な設定例であり、すべての運用で表示/使用できるものではありません。詳しくは、CD-ROM内の『設定ツール取扱説明書』を参照してください。

第 1 章

本製品をご使用になる前に

本製品の設置方法やケーブルの接続方法など、
本製品を使い始めるまでの準備作業について説明します。

章 目次

本機の概要

本機は、カラー液晶画面とタッチパネルを採用した、視認性と操作性に優れた打刻端末です。

▶ 2 種類の非接触 IC カードに対応

非接触ICカードのMIFARE／FeliCaに対応しています。
※1台の端末で、MIFAREとFeliCaを同時に使用はできません。

▶ 様々な種類の打刻や休暇の申請が可能

出勤／退勤／外出／戻りといった通常の打刻に加え、直行／直帰といった特殊勤務の打刻や、有給休暇／振替休暇などの申請が可能です。
※特殊勤務や申請など、一部の機能はアプリケーションが対応していないと使用できません。

▶ 音声による操作案内

本機は、タッチパネルだけでなく、音声でも操作状態やエラーをお知らせします。

▶ ボタン名称やレイアウトの変更が可能

本機には、様々な設定をパソコンで行えるソフトウェア「設定ツール」が付属します。「設定ツール」を使うと、端末で使用できる勤怠ボタンの名称変更や、レイアウトの変更が行えます。

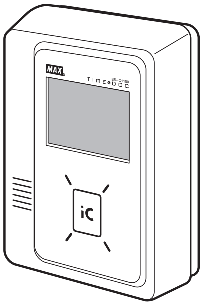
▶ 専用の打刻データ収集ソフト（別売）

様々な勤怠管理システムと連携することができます。

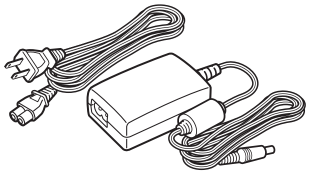
同梱品の確認

本機をご使用になる前に、次の同梱品が揃っているか確認してください。万一、不足や破損がある場合は、お手数ですが、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ER-IC1100



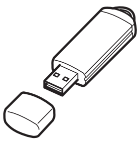
ACアダプター



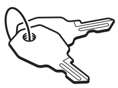
タッチペン



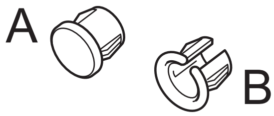
USBメモリ



カバー開閉キー（2個）

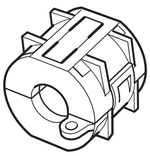


キャップA（2個）、
キャップB（3個）

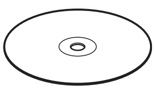


※キャップA（1個）とキャップB（2個）は本体に装着された状態で出荷しています。

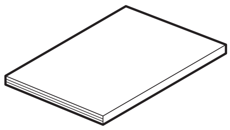
フェライトコア



設定ツールソフト
（CD-ROM）

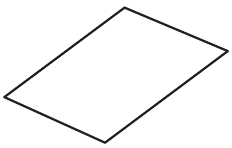


タイムレコーダ取扱説明書



※設定ツールの取扱説明書はCD-ROM内を参照してください。

保証書 兼 お客様登録用紙



設置条件

設置場所

次の場所への設置は避けてください。

- ホコリの多い所
- 戸外（直射日光、雨水等が当たる所）
- 温度変化が激しい所（結露の恐れのある所）
- 強い磁気の発生する所
- 振動の激しい所

設置条件

設置する場所の1m以内に製品用電源コンセントがあること。
LAN接続の場合等、通信ケーブル端子が設置場所までとどいていること。
電話回線接続の場合は、設置する場所の1m以内に通信用モジュラーケーブルとモデム用電源コンセントがあること。

お願い

電話回線使用の場合は、本機、モデム、電話回線切替機の3つの電源コンセントが必要になります。

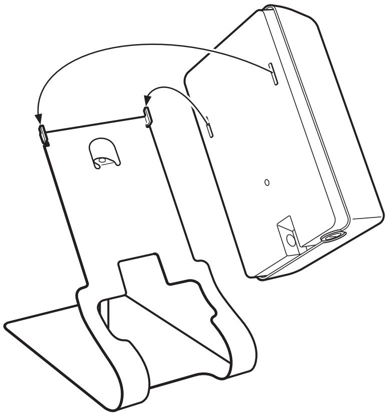
専用スタンドへの取り付けかた

本機を別売の専用スタンド「ER-IC1100スタンド」に取り付ける方法について説明します。

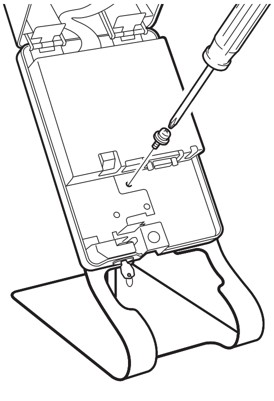
お願い

本機を専用スタンドへ取り付ける際は、必ず電源プラグを抜いてください。感電や機器故障の原因となります。

1 本機背面の3ヶ所のシールをはがし、スリットを専用スタンドのツメに差し込みます。



2 本機のカバーを開け、スタンド付属のネジで固定します。



3 スタンド背面からスタンド付属の袋ナットでネジをしめます。

お願い

ネジを取り付けるときは、基板や配線を傷つけないでください。感電や機器故障の原因となります。

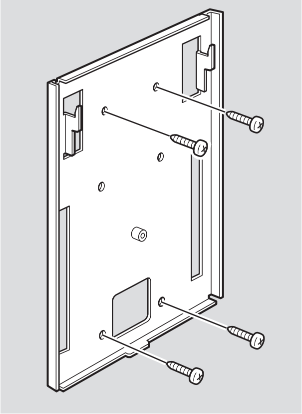
壁掛けユニットの使いかた

本機を別売の壁掛けユニット「ER-IC1100カベカケ」に取り付ける方法について説明します。

お願い

本機を壁掛けユニットへ取り付ける際は、必ず電源プラグを抜いてください。感電や機器故障の原因となります。

1 壁掛けユニットに付属するネジで、壁と壁掛けユニットを固定します。



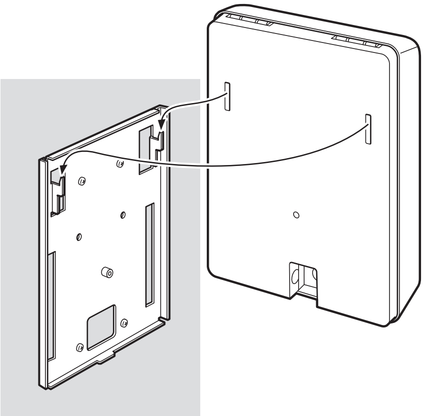
メモ

付属のネジで取り付け可能な壁の材質は木となります。石こうボードに取り付ける場合は、アンカーをご用意ください。

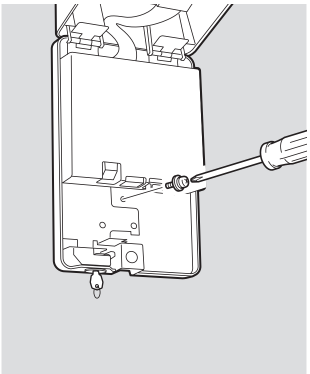
お願い

壁の材質によっては、付属のネジでは固定できない場合があります。

2 本機背面の3ヶ所のシールをはがし、スリットを壁掛けユニットのツメに差し込みます。



3 本体のカバーを開け、壁掛けユニット付属のネジで固定します。

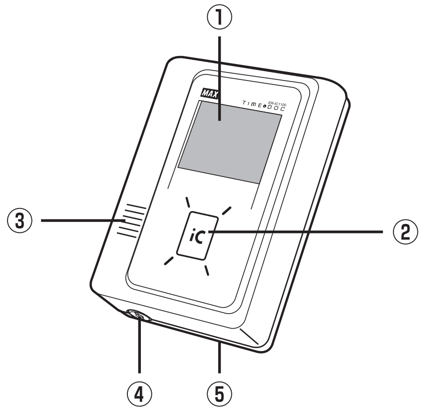


お願い

ネジを取り付けるときは、基板や配線を傷つけないでください。感電や機器故障の原因となります。

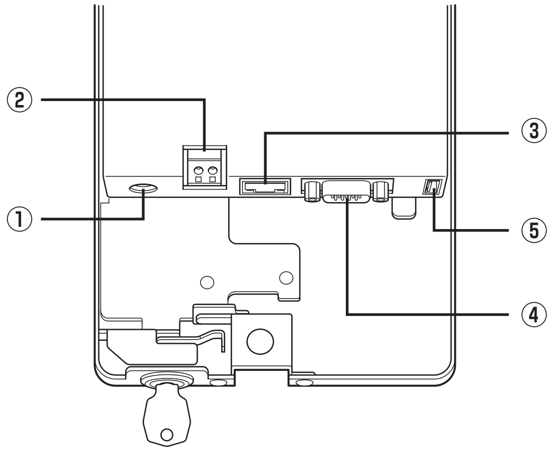
各部の名称とはたらき

本体外観



名称	機能
①液晶タッチパネル	日付や時刻などの情報と、勤務指定や設定用の操作ボタンが表示されます。
②ICカード読み取り部	ICカードをかざします。 カードを接触させなくても読み取れます。
③スピーカー	音声またはブザーを鳴らします。
④カバー開閉錠	本体カバーを開閉するときは、同梱のカバー開閉キーを挿し込み、回します。
⑤盗難防止用ロック取付穴	盗難防止用ケーブルを取り付けることで、本体の盗難リスクが減少します。

内部機構

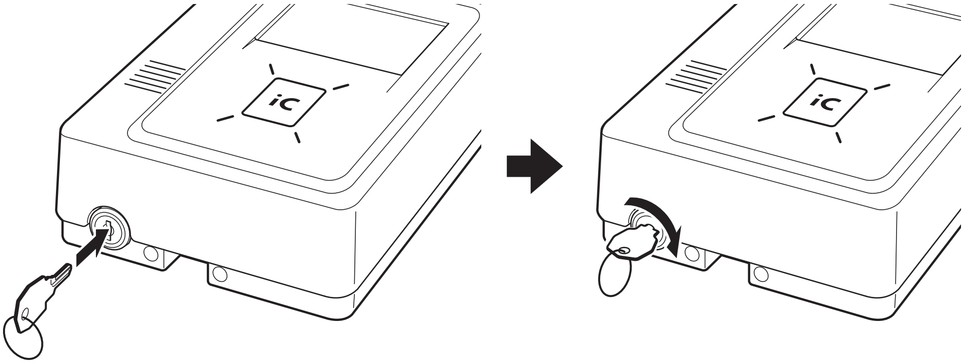


名称	機能
①電源端子	ACアダプターを接続します。
②チャイム接点端子	チャイム装置を接続します。
③LAN端子	LANケーブルを接続します。
④シリアル端子(RS-232C)	シリアルケーブルを接続します。
⑤USB端子	USBメモリを接続します。

カバーの開閉

開閉のしかた

同梱のカバー開閉キーを本体のカバー開閉錠に差し込み、キーを回すとカバーのロックを解除できます。
カバーを開いているときには、定期的に「鍵を閉めてください」という音声が再生されます。



お願い

USBメモリの取り付け／取り外し、LANケーブルの接続など、カバーを開ける必要があるとき以外は、必ず鍵をかけてカバーをロックしてください。カバーが開いているときは、次の機能が利用できません。

・ タッチパネルを使った操作
・ 打刻
・ USBメモリを利用する機能（打刻データのバックアップ、設定情報の読み込み／書き出しなど）
・ LAN、モデムによる通信

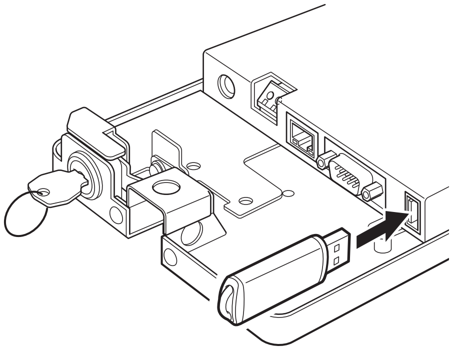
USBメモリの取り付け／取り外し

メモ

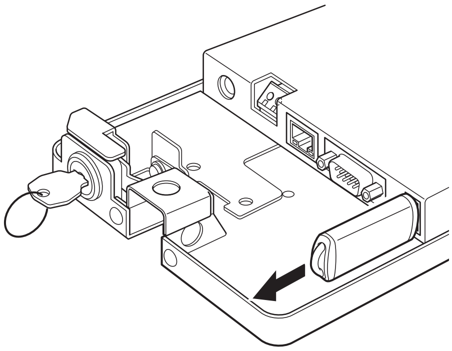
タイムレコーダの電源が入った状態で、USBメモリの取り付け・取り外しを行っても問題ありません。

取り付けかた

USBコネクタの向きにあわせてまっすぐに差し込んでください。



取り外しかた



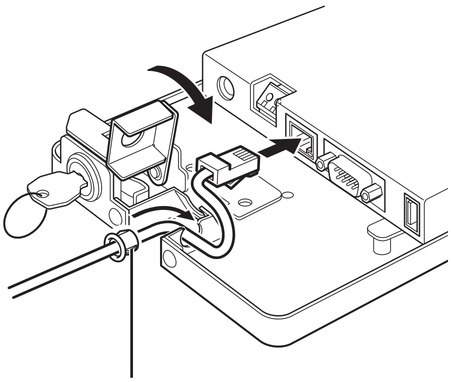
お願い

データ書き出し中など、本体の動作中には、USBメモリを取り外さないでください。

LAN、モデム／TA、チャイム装置の接続

LAN の接続

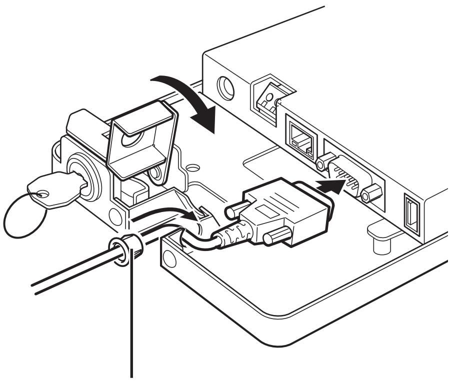
LAN端子にLANケーブルをカチッと音がしてロックするまで差し込みます。



キャップ B を取り付けてください。

モデム／ TA の接続

シリアル端子にシリアルケーブルを差し込み、シリアルケーブルのネジで固定します。

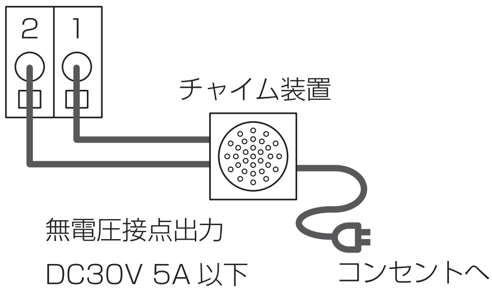


キャップ B を取り付けてください。

チャイム装置の接続

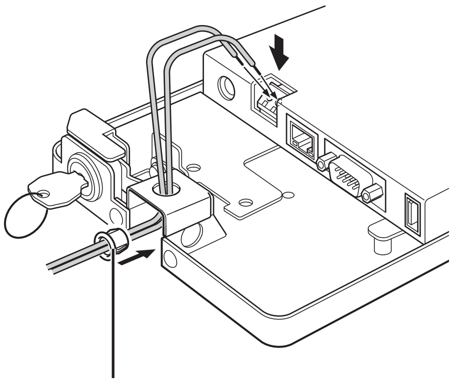
⚠警告	
	● **外部時報を接続する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**本機が不意に動作した時、けがや故障、感電の原因になります。
	● **外部時報接続には適用電線以外は使用しないでください。**電線が発熱や破損し、火災、感電の原因になります。 ● **外部時報接続部の定格を超える機器を接続しないでください。**火災の原因になります。 ● **外部時報接続部には外部時報機器以外の機器を接続しないでください。**火災や故障の原因になります。

本機から接点信号を取り出して外部のチャイム装置に接続できます。本機で設定した時刻になると、設定した秒数だけ接点の端子（1、2ピン）がショートし、チャイムを鳴らすことができます。



▶ ケーブルの接続方法

図のツメを押しながら、チャイム装置の入力ケーブルを差し込みます。ツメを離すと差し込んだケーブルが固定されます。



キャップ A を取り外した後、キャップ B を取り付けてください。

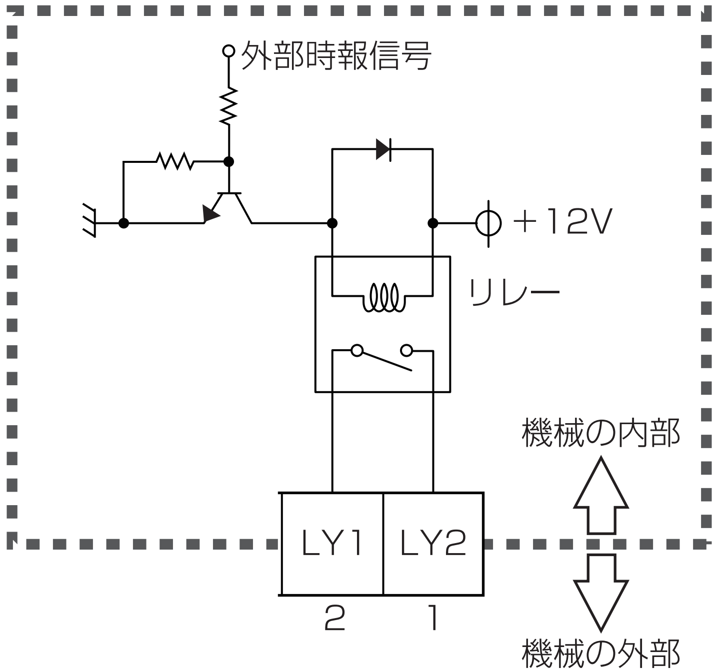
お願い

- 使用するケーブルの先端にほつれがないようにハンダ処理するなど、短絡に注意してください。
- この接点は無電圧接点です。電源を持っていないチャイムを接続することはできません。
- スピーカーには直接つなげません。
- アンプにつないで、タイムレコーダのチャイム音を増幅することはできません。
- 配線を行う場合は、専門の業者に依頼することをお勧めします。

外部時報接続部について

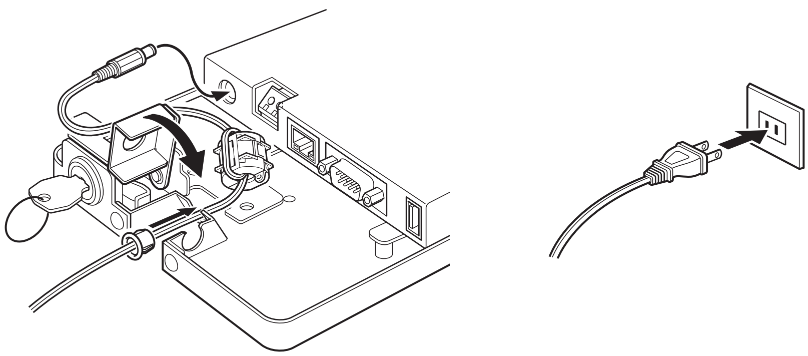
定格	:	3A 277V AC、5A 30V DC
適用電線	:	単線φ0.4（AWG26）～φ1.2（AWG18） 燃線0.2mm2（AWG24）～0.75mm2（AWG20） 素線径0.18mm以上

電気配線図



電源のオン／オフ

ACアダプターを本機のDC端子とコンセントにそれぞれ接続すると、タッチパネルに待機画面が表示されます。
電源をオフにするときには、ACアダプターをコンセントから外します。



カバー開閉錠の右側の穴に付属のキャップBをはめ込み、キャップBの中にDC端子を通すことができます。
ACアダプターのケーブル抜け防止のためフェライトコアを取り付けてください。

待機画面の見かた

電源を入れると、タッチパネルに待機画面が表示されます。待機画面には、現在時刻のほか、勤怠ボタンやお知らせがあることを知らせるマークなどが表示されます。



項目	説明
①日付・曜日	現在の日付と曜日が表示されます。
②AM/PM	午前/午後の表示です。24時間制に設定している場合は、表示されません。 参照 12/24時間制の変更→「現在日時を変更するには」（48ページ）
③通信中マーク	LANやモデムを使って通信しているときに表示されます。
④お知らせマーク	全社員共通のお知らせがあるときに表示されます。押すと、お知らせを確認できます。 参照 共通のお知らせの確認方法→「共通のお知らせがある場合」（37ページ）
⑤メニューボタン	押すと、打刻を確認できるメニューが表示されます。 参照 打刻の確認方法→「打刻を確認するには」（39ページ）
⑥勤怠ボタン	打刻を行うボタンです。該当するボタンを押してICカードをかざすと打刻できます。 参照 打刻の方法→「打刻のしかた」（31ページ）
⑦テロップ	メッセージを表示できます。10文字以内は固定、11文字以上はスクロールします。設定ツールによる設定が必要です。

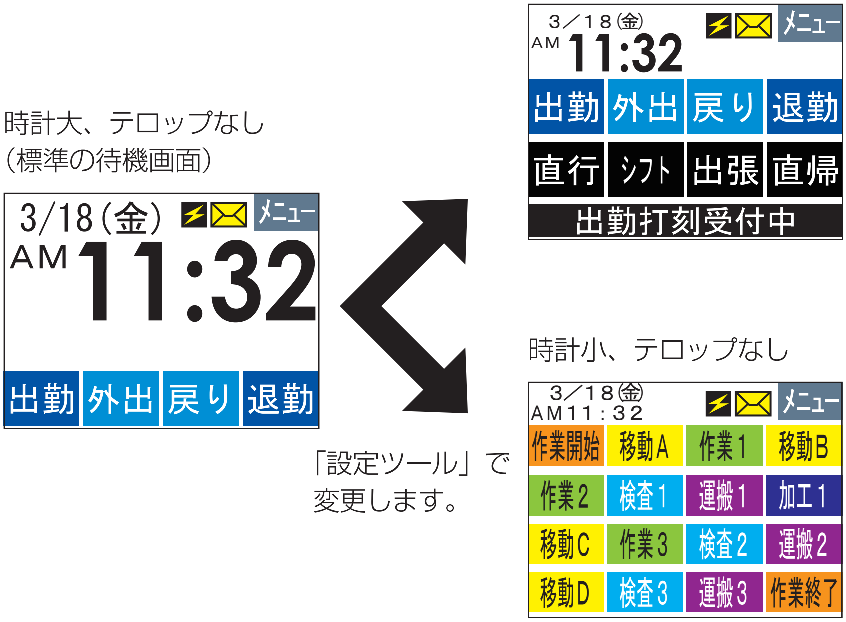
待機画面の表示パターン

「設定ツール」を使うと、待機画面の表示パターンを変更できます。

時計大、テロップなし
（標準の待機画面）

時計中、テロップあり

時計小、テロップなし



「設定ツール」で
変更します。

※使用できるボタンは勤怠管理ソフトによって異なります。

音声の種類

勤務ボタンを押したときや打刻したときには、音声やチャイムが流れます。

勤怠ボタン押下時

押した勤務ボタンの名称を発話します。発話する音声には「標準モード」と「挨拶モード」があり、「設定ツール」で切り替えることができます。

メモ

発話できるのは、本機に初期設定で登録されているボタンのみです。「設定ツール」で新規に作成したボタンの名称は発話できません。

勤務ボタン	発話内容	
	標準モード	挨拶モード
出勤	「出勤」	「おはようございます」
外出	「外出」	「いってらっしゃい」
戻り	「戻り」	「おかえりなさい」
退勤	「退勤」	「おつかれさまでした」
早出	「早出」	「早出」
残業	「残業」	「残業」
直行	「直行」	「直行」
直帰	「直帰」	「直帰」
シフト変更	「シフト変更」	「シフト変更」

打刻時

状況に応じて、次のように発話します。

状況	発話内容
カードをかざして打刻した	「記録しました」
勤務ボタンを押してからカードをかざさずに5秒が経過した	「カードをかざしてください」
カードをかざしたが読み取れなかった	「読み取れません。もう一度カードをかざしてください」
無効となっているカードをかざした	「このカードは受け付けできません」
前回の打刻と矛盾した打刻を行った	「前回の打刻と矛盾があります。修正の必要があります。」
IDを入力する画面で、IDを入力せずに5秒が経過した	「IDを入力してください」
打刻データの修正を承認した	「承認しました」
管理者権限のない人が、管理者権限の必要な操作を行おうとした	「この操作は、管理者権限がないので、できません」
打刻データを削除した	「削除しました」
鍵が開いている	「鍵を閉めてください」

ご使用開始までに必要な設定

本機を利用する際に必要な設定について説明します。

1 管理者IDを設定する

本機の各種設定を変更できる権限を持つカードを登録します。

参照

管理者IDの設定→「管理者IDを設定するには」(52ページ)

↓

2 日時設定を行う

タッチパネルに表示される日時を合わせます。

参照

日時を合わせる→「現在日時を変更するには」(48ページ)

↓

3 通信環境を設定する

ご利用の通信環境(LAN/モデム)に合わせた設定を行います。

参照

LANの設定→「LAN接続時の設定を変更するには」(64ページ)
モデムの設定→「モデム接続時の設定を変更するには」(63ページ)

↓

4 音量を変更する

本機の音量を設定します。

参照

音量の設定→「チャイム・発話・ブザーの音量を変更するには」(49ページ)

▶ その他の設定

その他、本機の利用状況にあわせて、次の設定を行うことができます。

設定内容	説明
使用するカード種別を設定する	MIFAREまたはFeliCaの使用するカード種別を変更してください。 参照 カード種別の変更→「使用するカードの種類を変更するには」(74ページ)
待機画面に表示するボタンのレイアウトや名称を変更する	付属ソフトウェアの「設定ツール」で変更してください。 参照 勤怠ボタンの変更→『設定ツール取扱説明書』
自動打刻を設定する	特定の時刻にカードをかざすと、決められた勤務種別で自動的に打刻するように設定できます。 参照 自動打刻の設定→「自動打刻の設定を変更するには」(61ページ)
バックアップ時刻を変更する	USBメモリに打刻データをバックアップする時刻を変更できます。 参照 バックアップ時刻の変更→「打刻データのバックアップ時刻を変更するには」(60ページ)

第 2 章

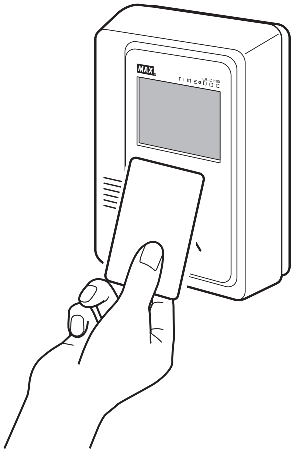
日常の操作（打刻）

出勤/退勤などの打刻方法をはじめ、打刻の確認方法や、
管理者からのお知らせを確認する方法など、
日常の操作について説明します。

章 目次

カードのかざしかた

ICカード読み取り部にICカードをかざしてください。
打刻するときは、勤務ボタンを押した後にカードをかざします。



メモ

自動打刻の設定を行っていれば、勤務ボタンを押す必要はありません(61ページ)。

打刻のしかた

基本的な打刻方法について説明します。

出勤／退勤、外出／戻り

出勤、退勤、外出、戻りの場合に打刻する方法を説明します。ここでは、出勤の場合を例に説明しますが、退勤・外出・戻りの場合も同じ方法で打刻できます。

1 タッチパネルの［出勤］ボタンを押します。



2 10秒以内にカードをかざします。

10秒を過ぎると待機画面に戻ります。



参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

タッチパネルに「記録しました。」という文字と、打刻した時刻が表示されます。

メモ

一定時間内に連続して打刻した場合、「カード受付の確認」画面が表示されます。そのまま打刻する場合は［記録］ボタンを押してください。打刻しない場合は［戻る］ボタンを押してください。

参照

連続打刻チェック→「打刻チェックの設定を変更するには」（58ページ）

早出／残業

設定ツール

早出または残業の場合に打刻する方法を説明します。ここでは、残業の場合を例に説明しますが、早出の場合も同じ方法で打刻できます。

1 タッチパネルの［残業］ボタンを押します。

早出する場合は［早出］ボタンを押します。



2 10秒以内にカードをかざします。

10秒を過ぎると待機画面に戻ります。



参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

タッチパネルに「記録しました。」という文字と、打刻した時刻が表示されます。

メモ

一定時間内に連続して打刻した場合、「カード受付の確認」画面が表示されます。そのまま打刻する場合は［記録］ボタンを押してください。打刻しない場合は［戻る］ボタンを押してください。

参照

連続打刻チェック→「打刻チェックの設定を変更するには」（58ページ）

シフト選択

設定ツール

シフトを選択して打刻する方法について説明します。

1 タッチパネルの［シフト］ボタンを押します。



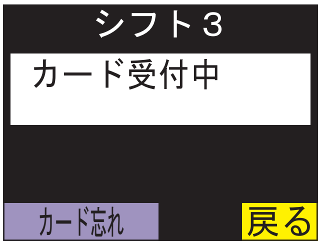
2 打刻するシフトを押します。

選択するシフトが表示されない場合は、［次］ボタンを押します。



3 10秒以内にカードをかざします。

10秒を過ぎると待機画面に戻ります。



参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

タッチパネルに「記録しました。」という文字と、打刻した時刻が表示されます。

メモ

一定時間内に連続して打刻した場合、「カード受付の確認」画面が表示されます。そのまま打刻する場合は［記録］ボタンを押してください。打刻しない場合は［戻る］ボタンを押してください。

参照

連続打刻チェック→「打刻チェックの設定を変更するには」（58ページ）

直行／直帰

直行または直帰の場合に打刻する方法を説明します。ここでは、直行の場合を例に説明しますが、直帰の場合も同じ方法で打刻できます。

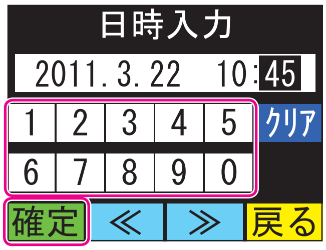
1 タッチパネルの［直行］ボタンを押します。

直帰する場合は［直帰］ボタンを押します。



2 直行する日時を入力し、［確定］ボタンを押します。

［<<］［>>］ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで入力します。



3 10秒以内にカードをかざします。

10秒を過ぎると待機画面に戻ります。



参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

タッチパネルに「記録しました。」という文字と、打刻した時刻が表示されます。

出張申請時の打刻

設定ツール

タイムレコーダで出張を申請する方法を説明します。

1 タッチパネルの［出張］ボタンを押します。



2 10秒以内にカードをかざします。

10秒を過ぎると待機画面に戻ります。



参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

タッチパネルに「記録しました。」という文字と、打刻した時刻が表示されます。

3 出張する日をタッチして反転表示にし、［確定］ボタンを押します。

［前月］［次月］ボタンでカレンダーを切り替えられます。切り替えられる期間は、当月を含む前後3か月です。



休暇申請時の打刻

タイムレコーダで休暇を申請する方法を説明します。ここでは、有給休暇を申請する場合を例に説明しますが、他の休暇(忌引、振替休暇、生理休暇など)の場合も同じ方法で申請できます。

1 タッチパネルの［有休］ボタンを押します。



2 10秒以内にカードをかざします。

10秒を過ぎると待機画面に戻ります。



参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」(38ページ)

タッチパネルに「記録しました。」という文字と、打刻した時刻が表示されます。

3 休暇を取得する日をタッチして反転表示にし、［確定］ボタンを押します。

［前月］［次月］ボタンでカレンダーを切り替えられます。切り替えられる期間は、当月を含む前後3か月です。



お知らせの見かた

オプションの「メッセージ送信ソフト」を使用すれば、全社員宛または個人宛にお知らせを表示させせることができます。ここでは、お知らせの確認方法について説明します。

共通のお知らせがある場合

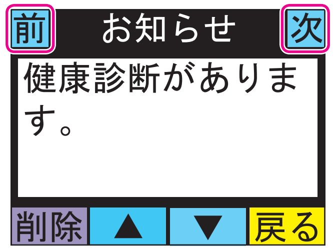
全社員共通のお知らせがある場合には、画面右上に✉が表示されます。全社員共通のお知らせを確認する方法について説明します。

1 タッチパネルの✉を押します。



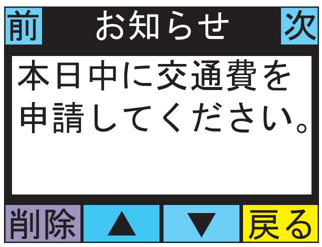
2 ▲▼ボタンを押して、お知らせを確認します。

お知らせが複数ある場合は、[前][次]ボタンを押してお知らせを切り替えられます。



個人宛のお知らせがある場合

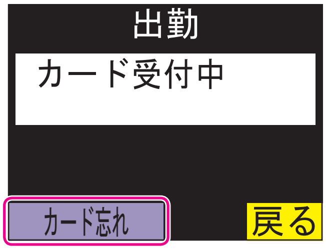
個人宛のお知らせがある場合は、カードをかざして打刻するとお知らせが自動的に表示されます。▲▼ボタンを押してお知らせを確認してください。
お知らせが複数ある場合は、[前][次]ボタンを押してお知らせを切り替えられます。
[削除]ボタンを押すと、表示されているお知らせが削除されます。



カードを忘れたときの操作

カードを忘れた場合、カードをかざす代わりにカードIDを入力して打刻することができます。

1 カードをかざす画面で、［カード忘れ］ボタンを押します。



2 IDを入力し、［記録］ボタンを押します。

英数字を入力する場合は、［切替］ボタンを押してください。「数字→英字（大文字）→英字（小文字）」の順にボタンが切り替わります。

［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去されます。



参照

カード忘れ機能を使用不可にするには→「カード忘れの使用を変更するには」(59ページ)

打刻を確認するには

過去の打刻内容を確認する方法について説明します。

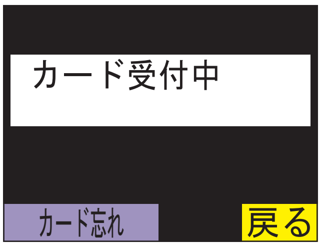
1 ［メニュー］ボタンを押します。



2 ［打刻確認］ボタンを押します。



3 10秒以内にカードをかざします。



参照

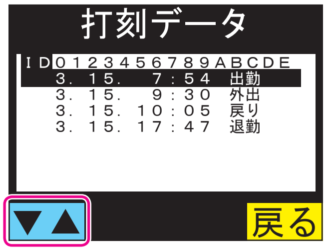
カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

4 打刻を確認したい日をタッチして反転表示にし、［確定］ボタンを押します。

［前月］［次月］ボタンでカレンダーを切り替えられます。切り替えられる期間は、当月を含む前後3か月です。



5 ▲▼ボタンを押して打刻内容を確認します。



過去の個人宛お知らせを確認するには

すでに受信した個人宛のお知らせを表示する方法について説明します。過去の個人宛お知らせを確認するには、設定ツールで［お知らせ］ボタンを表示するよう設定を変更する必要があります。

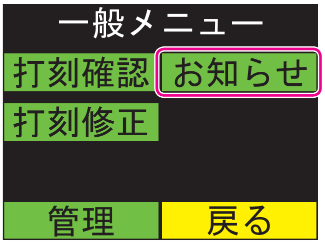
参照

［お知らせ］ボタンの表示方法→『設定ツール取扱説明書』

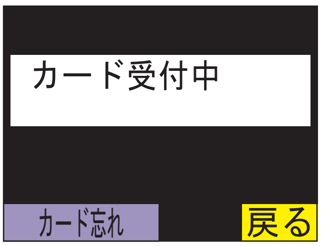
1 ［メニュー］ボタンを押します。



2 ［お知らせ］ボタンを押します。



3 10秒以内にカードをかざします。

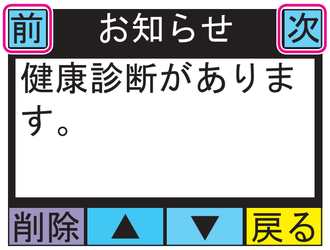


参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

4 ［前］［次］ボタンを押して確認したいお知らせを表示します。

お知らせが画面に表示しきれないときは▲▼ボタンを押してスクロールさせます。



メモ

- ［削除］ボタンを押すと、表示されているお知らせは削除されます。
- 個人宛のお知らせには、表示期間が設定されています。表示期間が過ぎたお知らせは、自動的に削除されます。

第 3 章

管理メニューを使った操作・設定

管理メニューを使って、本機の各種設定を変更する方法について説明します。

章 目次

管理メニューの表示方法

管理メニューの表示方法について説明します。

1 タッチパネルの［メニュー］ボタンを押します。

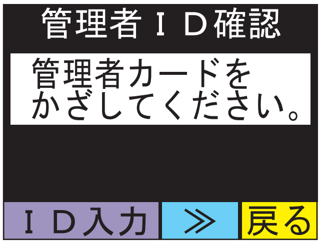


2 ［管理］ボタンを押します。



3 10秒以内にカードをかざします。

10秒を過ぎると待機画面に戻ります。



参照

カードを忘れた→「カードを忘れたときの操作」（38ページ）

4 パスワードを入力し、［確定］ボタンを押します。

この画面は、管理権限が「パスワード」または「管理者＋パスワード」に設定されている場合に表示されます。



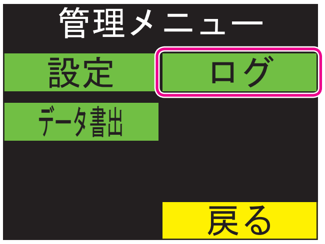
タッチパネルに管理メニューが表示されます。



動作記録(ログ)を確認するには

タイムレコーダの動作記録(ログ)を確認することができます。動作記録の項目には、設定変更、鍵開閉、設定通信などがあります。

1 管理メニューを表示させ、[ログ] ボタンを押します。



参照

管理メニューの表示→「管理メニューの表示方法」(42ページ)

2 [表示] ボタンを押します。



ログデーター覧画面が表示されます。

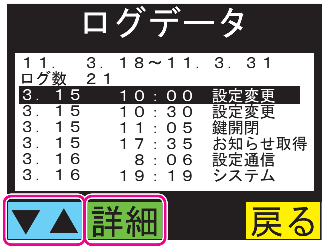
メモ

初期表示では現在の年月日のみが表示期間として指定されています。

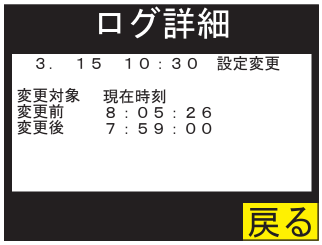
参照

期間変更→「ログの表示期間を変更するには」(44ページ)
絞込条件→「ログの絞込条件を指定するには」(44ページ)

3 ▲▼ボタンを押してログを選択し、[詳細] ボタンを押します。



4 選択したログの詳細が表示されます。



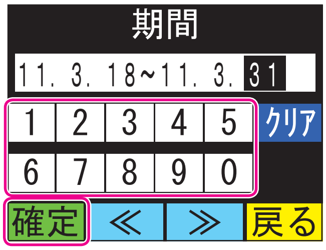
▶ ログの表示期間を変更するには

1 43ページ 2 の画面で、[期間変更] ボタンを押します。



2 表示する期間（年月日）を入力し、［確定］ボタンを押します。

［<<］［>>］ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで入力します。



1 の画面に戻ります。

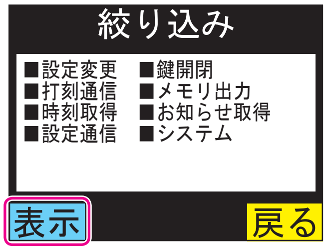
▶ ログの絞込条件を指定するには

1 43ページ 2 の画面で、[絞込条件] ボタンを押します。



2 絞込条件をタッチし、［表示］ボタンを押します。

先頭が■になっている項目が検索対象に、□になっている項目が検索対象外になります。

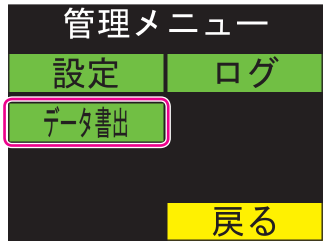


指定した条件に合ったログデータが一覧に表示されます。

打刻データをUSBメモリに書き出すには

タイムレコーダ内の打刻データをUSBメモリに書き出すことができます。
書き出される打刻データは、1度も書き出し(通信を含む)をしていない打刻データが対象です。
対象期間を指定して書き出すことも可能です。この場合は、過去に書き出したどうかに関わらず対象期間内の打刻データが書き出されます。
あらかじめUSBメモリが接続されていることを確認してください。

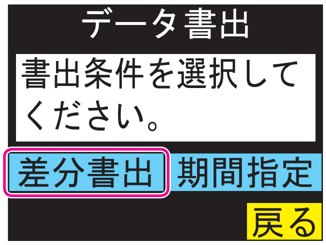
1 管理メニューを表示させ、[データ書出]ボタンを押します。



参照

管理メニューの表示→「管理メニューの表示方法」(42ページ)

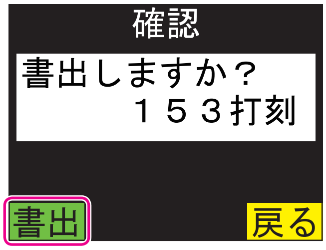
2 [差分書出]ボタンを押します。



参照

期間指定→「期間を指定して書き出すには」(46ページ)

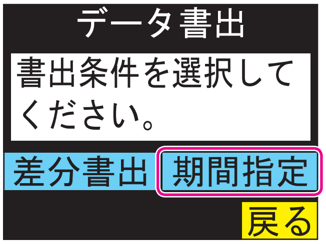
3 [書出]ボタンを押します。



1度も書き出し(通信を含む)をしていない打刻データがUSBメモリに書き出されます。
書き出し終わると、タッチパネルに「書き出しました。」という文字と、書き出した打刻数が表示されます。

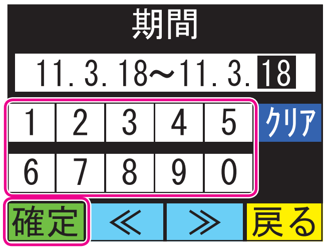
▶ 期間を指定して書き出すには

1 45ページ **2** の画面で、[期間指定] ボタンを押します。

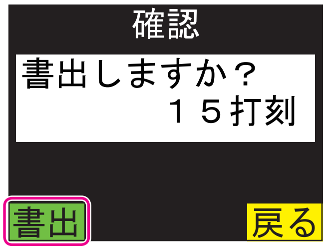


2 対象の期間(年月日)を入力し、[確定] ボタンを押します。

[<<] [>>] ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで入力します。



3 [書出] ボタンを押します。



対象期間の打刻データがUSBメモリに書き出されます。書き出しが終わると、タッチパネルに「書き出しました。」という文字と、書き出した打刻数が表示されます。

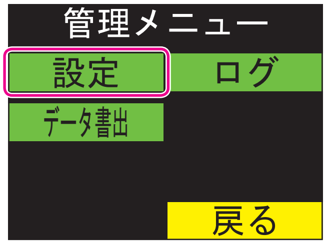
管理メニューでの設定

管理メニューでの設定について説明します。

設定画面の表示方法

管理メニューの設定画面を表示するには、次の手順で操作します。

1 管理メニューを表示させ、［設定］ボタンを押します。



参照

管理メニューの表示→「管理メニューの表示方法」（42ページ）

管理メニューの設定画面が表示されます。設定画面は5つに分かれています。

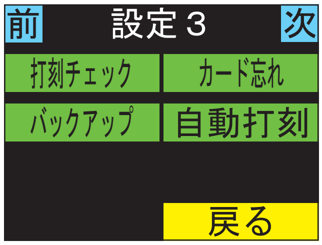
［次］［前］ボタンを押すと画面が切り替わります。



［次］▽　△［前］



［次］▽　△［前］



［次］▽　△［前］



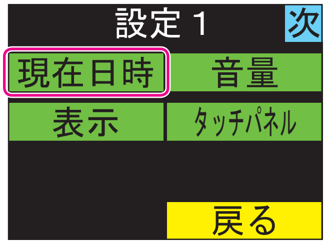
［次］▽　△［前］



現在日時を変更するには

本機の現在日時を設定します。

1 管理メニューの「設定1」画面を表示させ、[現在日時] ボタンを押します。



参照

「設定1」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 現在の日時が表示されます。



メモ

[12/24H] ボタンを押すたびに時刻表示が12時間制と24時間制に切り替わります。

3 [日付] ボタンを押します。



4 年月日を入力し、[確定] ボタンを押します。

[<<] [>>] ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで入力します。

[クリア] ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



タイムレコーダの日付が変更されます。

5 [時刻] ボタンを押します。



6 時分秒を入力し、[確定] ボタンを押します。

[<<] [>>] ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで入力します。

[クリア] ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。

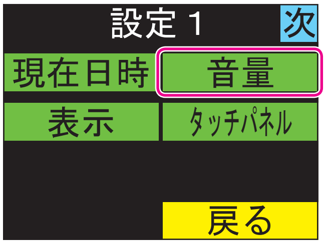


タイムレコーダの時刻が変更されます。

チャイム・発話・ブザーの音量を変更するには

ボタンを押したときの発話やブザー、チャイムの音量を変更することができます。

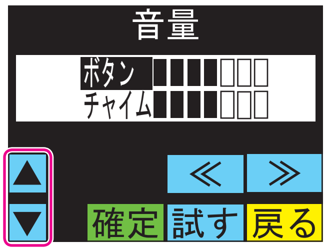
1 管理メニューの「設定1」画面を表示させ、[音量] ボタンを押します。



参照

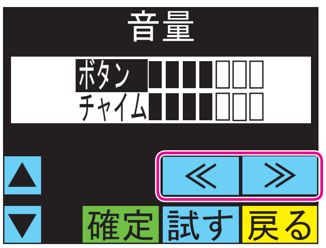
「設定1」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 ▲▼ボタンを押して「ボタン」または「チャイム」を選択します。

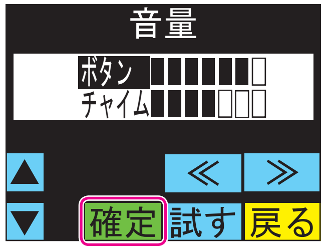


3 [<<] [>>] ボタンを押して音量を選択します。

■が多くなるほど音量が大きくなります。すべて□にすると無音になります。



4 [確定] ボタンを押します。



音量が変更されます。

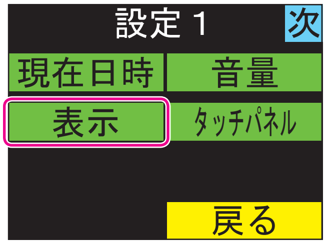
メモ

- [試す] ボタンを押すと、現在選択されている音量で試聴できます。「ボタン」が選択されているときは「がいしゅつ」と1回発話、「チャイム」が選択されているときはチャイムが1回鳴ります。
- 試聴中に [<<] [>>] ボタンを押して音量を調整することも可能です。

表示濃度・照明の点灯時間を変更するには

タッチパネルの表示濃度や照明(バックライト)の点灯時間を変更することができます。

1 管理メニューの「設定1」画面を表示させ、[表示] ボタンを押します。

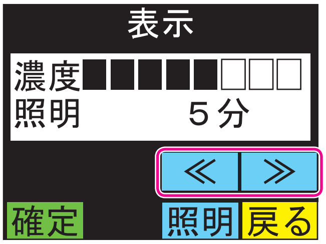


参照

「設定1」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 [<<] [>>] ボタンを押して表示濃度を選択します。

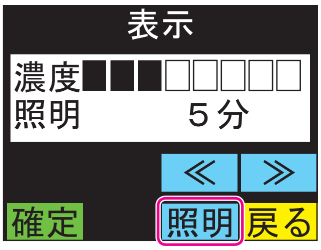
■が多くなるほど表示濃度が濃くなります。



メモ

表示濃度を変更しない場合は、手順3に進んでください。

3 [照明] ボタンを押します。



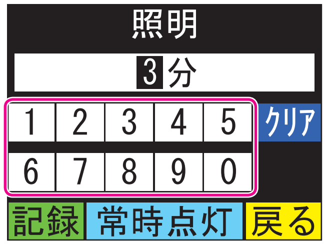
メモ

照明の点灯時間を変更しない場合は、手順5に進んでください。

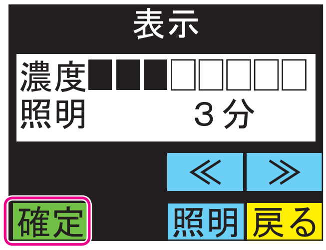
4 数字ボタンを押して点灯時間を入力し、[記録] ボタンを押します。

[クリア] ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。

照明を常時点灯させたい場合は [常時点灯] ボタンを押した後、[記録] ボタンを押してください。



5 [確定] ボタンを押します。

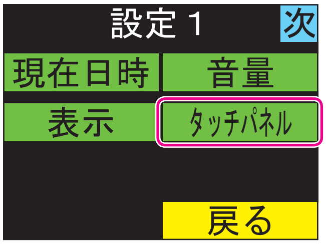


表示の設定が変更されます。

タッチパネルの検知範囲を調整するには

ボタンの表示と反応のズレがあるときには、タッチパネルの検知範囲を調整することができます。

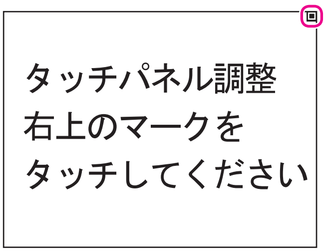
1 管理メニューの「設定1」画面を表示させ、［タッチパネル］ボタンを押します。



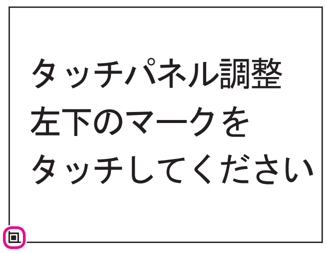
参照

「設定1」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 タッチパネル右上のマーク（■）をタッチします。



3 タッチパネル左下のマーク（■）をタッチします。

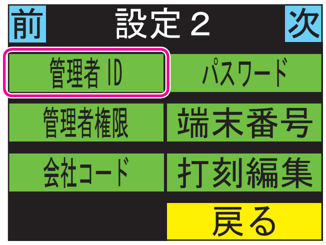


タッチパネルの検知範囲が変更されます。

管理者 ID を設定するには

打刻データの編集、設定の変更ができる管理者のID（管理者ID）を設定します。管理者IDは14桁の英数字（管理者が使うカードの固有ID）で入力します。

1 管理メニューの「設定2」画面を表示させ、［管理者ID］ボタンを押します。



参照

「設定2」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

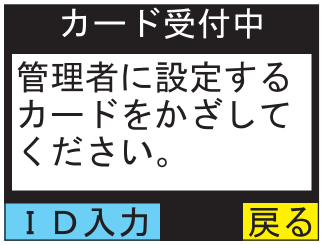
2 ▲▼ボタンを押して管理者ID（No.01～20）を選択し、［入力］ボタンを押します。



メモ

設定済みの管理者IDの情報を変更する場合は、該当の管理者IDを選択し、［削除］ボタンを押して情報を削除してください。

3 管理者が使用するカードをかざします。



カードの固有IDが管理者IDとして設定されます。

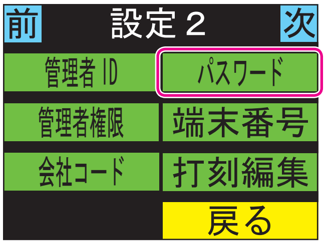
メモ

カードの固有IDが分かっている場合は、カードをかざす代わりに、カードの固有IDを入力することも可能です。［ID入力］ボタンを押した後、カードの固有IDを入力し、［記録］ボタンを押してください。

管理者のパスワードを変更するには

打刻データの編集、設定の変更時に使用するパスワード（暗証番号）を設定します。
パスワードは最大10 桁の数字で入力できます。

1 管理メニューの「設定2」画面を表示させ、［パスワード］ボタンを押します。

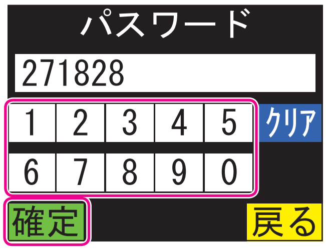


参照

「設定2」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 数字ボタンを押して新しいパスワードを入力し、［確定］ボタンを押します。

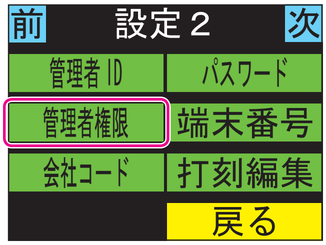
［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



管理権限を制限するには

管理者IDと管理者パスワードの有効・無効が設定できます。

1 管理メニューの「設定2」画面を表示させ、［管理者権限］ボタンを押します。



参照

「設定2」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 ▲▼ボタンを押して設定項目を選択し、［確定］ボタンを押します。

制限なし	管理者IDと管理者パスワードを制限なしにします。
管理者	管理者IDのみに、管理権限を限定します。
パスワード	管理者パスワードのみに、管理権限を限定します。
管理者+パスワード	上記の「管理者」と「パスワード」を組み合わせた設定です。管理者用のカードがあり、かつパスワードを知っている場合のみに、管理権限を限定します。



管理権限が変更されます。

端末番号を変更するには

本機の端末番号(複数のタイムレコーダを識別するための番号)を設定します。
複数の端末を導入している場合は、番号が重複しないように設定します。
初期設定は1番になっています。

1 管理メニューの「設定2」画面を表示させ、[端末番号] ボタンを押します。

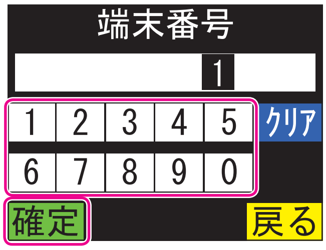


参照

「設定2」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 数字ボタンを押して新しい端末番号を入力し、[確定] ボタンを押します。

[クリア] ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



メモ

端末番号は数字のみで、4桁まで入力できます。

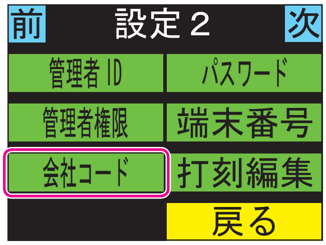
会社コードを変更するには

本機の会社コードを設定します。会社コードは受け付けるカードを制限するときの判別に使用できます。
会社コードは8桁までの英数字で設定します。

メモ

会社コードを使用するには、カードに会社コードをエンコードして使用する必要があります。

1 管理メニューの「設定2」画面を表示させ、[会社コード]ボタンを押します。



参照

「設定2」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 会社コードを入力し、[確定]ボタンを押します。

英数字を入力する場合は、[切替]ボタンを押してください。「数字→英字(大文字)→英字(小文字)」の順にボタンが切り替わります。

[<<][>>]ボタンを押すと、カーソルが移動します。

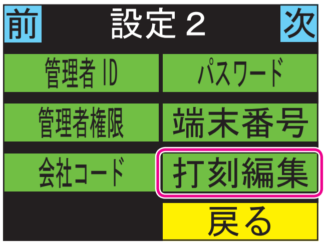
[クリア]ボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去されます。



打刻編集ができる範囲を設定するには

一般メニューや管理メニューに、打刻編集の各ボタン（[打刻修正］ボタンおよび［打刻承認］ボタン）を表示するかどうかを設定することができます。

1 管理メニューの「設定2」画面を表示させ、[打刻編集］ボタンを押します。



参照

「設定2」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 ▲▼ボタンを押して設定項目を選択し、[確定］ボタンを押します。

使用しない	打刻編集の各ボタンを表示しません。
管理	管理メニューのみに、打刻編集の各ボタンを表示します。
管理＋一般	管理メニューと一般メニューの両方に、打刻編集の各ボタンを表示します。

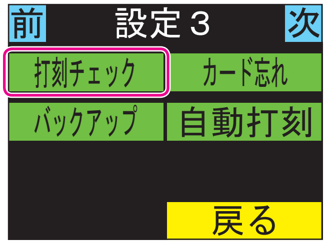


打刻編集ができる範囲が変更されます。

打刻チェックの設定を変更するには

打刻時に、打刻の前後関係をチェックするかを設定します。チェックするように設定すると、例えば「出勤」→「出勤」など打刻に矛盾があると、「前回の打刻と矛盾があります。修正の必要があります」とメッセージが表示されます。

1 管理メニューの「設定3」画面を表示させ、[打刻チェック] ボタンを押します。



参照

「設定3」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

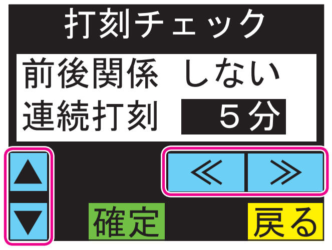
2 ▲▼ボタンを押して「前後関係」を選択し、[<<] [>>] ボタンを押して設定を変更します。

する	打刻の前後関係に矛盾がないか(出勤→出勤など)をチェックします。
しない	打刻の前後関係チェックは行いません。



3 ▲▼ボタンを押して「連続打刻」を選択し、[<<] [>>] ボタンを押して設定を変更します。

1分〜10分	設定した時間内の連続した打刻を矛盾打刻と判定します。
しない	連続打刻のチェックは行いません。



4 [確定] ボタンを押します。



打刻チェックの設定が変更されます。

カード忘れの使用を変更するには

打刻やメニュー表示の際に、［カード忘れ］ボタンを表示するかどうかを設定することができます。
［カード忘れ］ボタンを表示している場合は、カードをかざす代わりにカードの固有IDの入力ができるようになります。

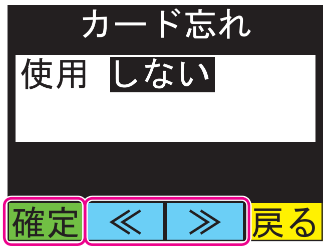
1 管理メニューの「設定3」画面を表示させ、［カード忘れ］ボタンを押します。



参照

「設定3」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 ［<<］［>>］ボタンを押して設定を変更し、［確定］ボタンを押します。

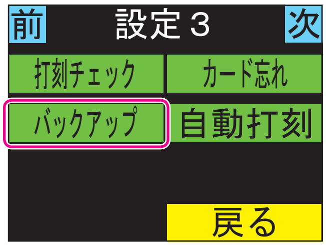


カード忘れの設定が変更されます。

打刻データのバックアップ時刻を変更するには

本機では、バックアップ時刻を設定しておくと、自動的にUSBメモリへ打刻データを書き出します（バックアップ中の画面表示はありません）。
あらかじめUSBメモリが接続されていることを確認してください。
打刻データのバックアップを行う時刻は、以下の手順で設定します。

1 管理メニューの「設定3」画面を表示させ、［バックアップ］ボタンを押します。



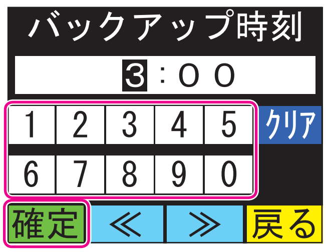
参照

「設定3」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 バックアップ時刻を入力し、［確定］ボタンを押します。

［<<］［>>］ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで入力します（時分とも2桁ずつ）。

［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。

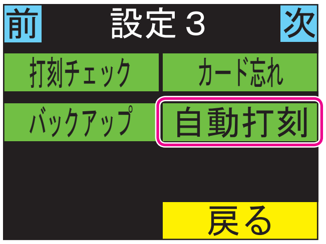


バックアップ時刻が変更されます。

自動打刻の設定を変更するには

自動打刻の時間帯(出勤として扱う時間帯、退勤として扱う時間帯)を設定することができます。自動打刻の時間帯が設定されている場合、出勤の時間帯にカードをかざすと自動的に出勤として打刻されます。退勤の時間帯にカードをかざすと自動的に退勤として打刻されます。

1 管理メニューの「設定3」画面を表示させ、[自動打刻] ボタンを押します。

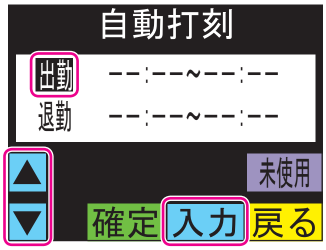


参照

「設定3」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 ▲▼ボタンを押して「出勤」を選択し、[入力] ボタンを押します。

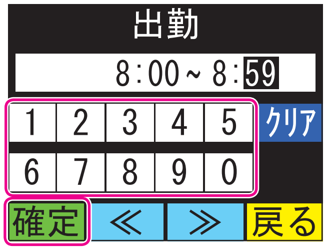
出勤の時間帯は設定しない場合は、「出勤」を選択した状態で [未使用] ボタンを押してください。



3 [<<] [>>] ボタンでカーソルを移動し、開始および終了の時分を入力し、[確定] ボタンを押します。

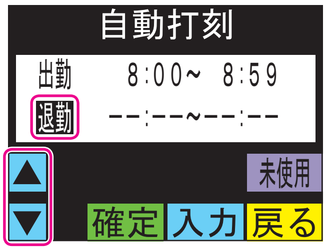
開始および終了の時分は数字ボタンで入力します(時は24時間制、時分とも2桁ずつ)。

[クリア] ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



4 ▲▼ボタンを押して「退勤」を選択し、[入力] ボタンを押します。

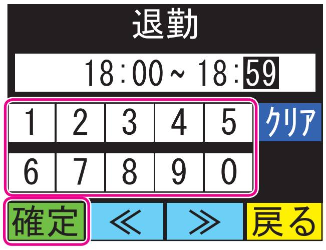
退勤の時間帯を設定しない場合は、「退勤」を選択した状態で [未使用] ボタンを押してください。



5 [<<] [>>] ボタンでカーソルを移動し、開始および終了の時分を入力し、[確定] ボタンを押します。

開始および終了の時分は数字ボタンで入力します(時は24時間制、時分とも2桁ずつ)。

[クリア] ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



6 [確定] ボタンを押します。



自動打刻の設定が変更されます。

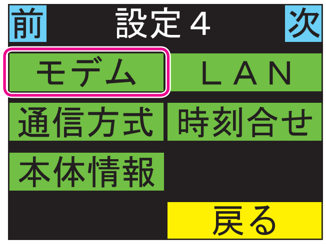
メモ

出勤と退勤の時間帯を重複させて設定はできません。

モデム接続時の設定を変更するには

モデム通信における各種パラメータを設定します。

1 管理メニューの「設定4」画面を表示させ、[モデム] ボタンを押します。

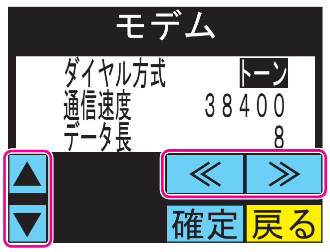


参照

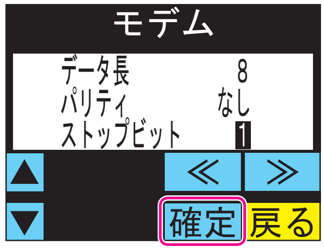
「設定4」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 ▲▼ボタンを押して設定項目を選択し、[<<] [>>] ボタンを押して設定値を選択します。

設定項目	設定値
ダイヤル方式	「トーン」「パルス」のいずれかを選択します。
通信速度	以下のいずれかを選択します。 9,600／12,000／19,200／38,400／57,600／115,200
データ長	「7」「8」のいずれかを選択します。
パリティ	「なし」「偶数」「奇数」のいずれかを選択します。
ストップビット	「1」「2」のいずれかを選択します。



3 [確定] ボタンを押します。



モデム通信における各種パラメータが変更されます。

LAN 接続時の設定を変更するには

LAN接続におけるTCP/IPパラメータ（本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS参照先のアドレス）を設定します。

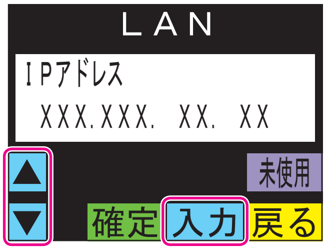
1 管理メニューの「設定4」画面を表示させ、［LAN］ボタンを押します。



参照

「設定4」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

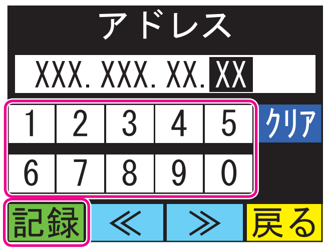
2 ▲▼ボタンを押して「IPアドレス」を表示し、［入力］ボタンを押します。



3 ［<<］［>>］ボタンでカーソルを移動し、IPアドレスを入力し、［記録］ボタンを押します。

IPアドレスの各オクテットは数字ボタンで入力します（各オクテットとも3桁ずつ）。

［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



4 「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」「DNS1」「DNS2」を設定します。

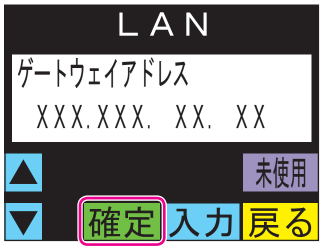
手順は、手順2～3と同様です。



メモ

「DNS1」および「DNS2」が選択されている場合に［未使用］ボタンを押すと、設定が空白になります。

5 ［確定］ボタンを押します。



LAN接続におけるTCP/IPパラメータが変更されます。

通信方式（モデム／ LAN）を変更するには

打刻データの送信する通信方式を設定します。

1 管理メニューの「設定4」画面を表示させ、[通信方式］ボタンを押します。



参照

「設定4」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 [<<］[>>］ボタンでカーソルを移動して通信方式を選択し、[確定］ボタンを押します。



3 [確定］ボタンを押します。



通信方式が変更され、本機が再起動します。

ネットワーク上の時刻サーバーと時刻を合わせるには

インターネットを通じて時刻を自動取得するときの時刻サーバー（NTPアドレス）と取得する時間を設定します。

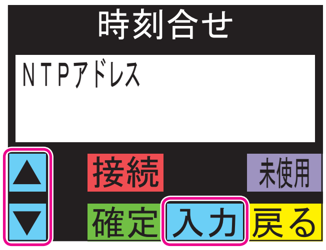
1 管理メニューの「設定4」画面を表示させ、［時刻合せ］ボタンを押します。



参照

「設定4」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 ▲▼ボタンを押して「NTPアドレス」を表示し、［入力］ボタンを押します。



メモ

「NTPアドレス」を表示した状態で［未使用］ボタンを押すと、設定が空白になります。

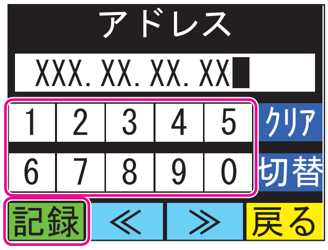
3 NTPアドレスを入力し、［記録］ボタンを押します。

NTPアドレスはサーバー名（FQDN:完全修飾ドメイン名）またはIPアドレスで入力します。

必要に応じて［切替］ボタンを押してください。「数字→英字（大文字）→英字（小文字）」の順にボタンが切り替わります。

［<<］［>>］ボタンを押すと、カーソルが移動します。

［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



4 ▲▼ボタンを押して「取得時刻」を表示し、［入力］ボタンを押します。



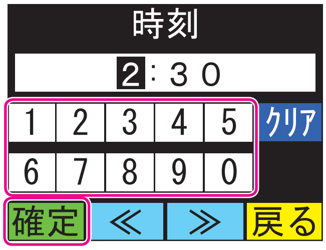
メモ

「取得時刻」を表示した状態で［未使用］ボタンを押すと、設定が空白になり、手順3の画面に移ります。

5 取得時刻を入力し、［確定］ボタンを押します。

［<<］［>>］ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで入力します（時は24時間制、時分とも2桁ずつ）。

［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の数字が消去されます。



6 ［接続］ボタンを押します。



NTPアドレスに指定したタイムサーバーへの時刻取得が行われます。取得に成功すると、「取得成功」という文字と、取得した年月日・時刻が表示されます。

7 ［戻る］ボタンを押します。



手順6の画面に戻ります。

8 ［確定］ボタンを押します。



取得した時刻が本機に設定されます。以降、取得時刻ごとに時刻合わせが行われます。

本体情報を確認するには

本機の機種名とバージョン情報を表示します。

1 管理メニューの「設定4」画面を表示させ、［本体情報］ボタンを押します。



参照

「設定4」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 本体情報が表示されます。



メモ

「未出力打刻数」はPCへの送信またはUSBメモリへの出力がされていない打刻数です。

当社以外が提供したカードなどで運用するには

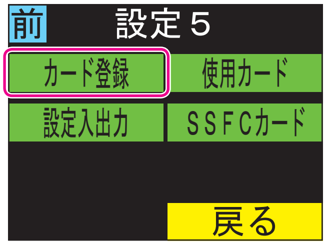
当社以外が提供したカードですでに運用している場合などは、既存のカードなどを本機に登録する必要があります（当社が提供したカードで運用する場合には不要です）。
カードは1,000件まで登録可能です。

メモ

FeliCaとMIFAREの両カードを同時に使用することはできません。同じ種類のカードでの運用となります。

▶ カード登録メニューの表示方法

1 管理メニューの「設定5」画面を表示させ、［カード登録］ボタンを押します。



参照

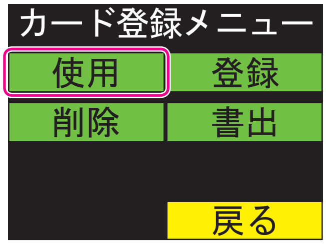
「設定5」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 カード登録メニューが表示されます。



▶ カード登録使用の有無

1 カード登録メニューを表示させ、［使用］ボタンを押します。

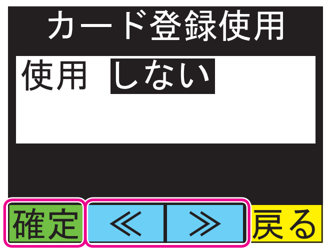


参照

カード登録メニューの表示→「カード登録メニューの表示方法」（69ページ）

2 ［<<］［>>］ボタンを押して設定項目を選択し、［確定］ボタンを押します。

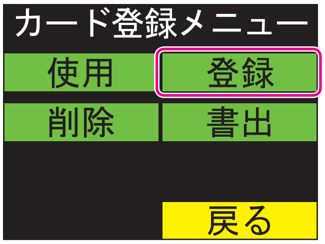
設定項目	設定値
する	登録した社員番号を打刻のIDとして使用します。
しない	カードに書き込まれた固有の番号を打刻のIDとして使用します。



設定が変更されます。

▶ カード情報の登録

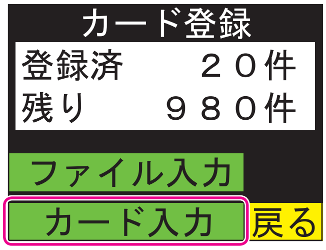
1 カード登録メニューを表示させ、［登録］ボタンを押します。



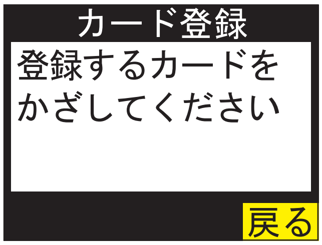
参照

カード登録メニューの表示→「カード登録メニューの表示方法」（69ページ）

2 ［カード入力］ボタンを押します。



3 登録するカードをかざします。



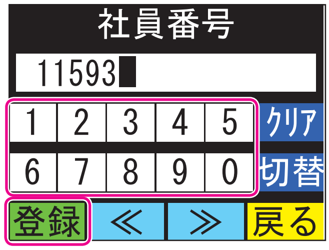
4 社員番号を入力し、［登録］ボタンを押します。

社員番号は英数字で入力します。

必要に応じて［切替］ボタンを押してください。「数字→英字（大文字）→英字（小文字）」の順にボタンが切り替わります。

［<<］［>>］ボタンを押すと、カーソルが移動します。

［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の文字が消去されます。



「登録しました。」という文字と、カードの固有ID、社員番号が表示されます。

5 ［戻る］ボタンを押します。



手順3の画面に戻ります。

カード情報のファイル入力

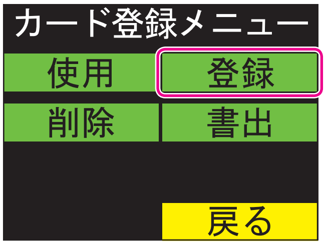
カードの固有IDと社員番号をペアにしたファイルをあらかじめUSBメモリに保存しておけば、カード情報をまとめて登録することができます。

入力用のファイルは、以下の要領でUSBメモリに保存されている必要があります。

- USBメモリ直下のフォルダ「ERIC1100」に保存されていること。
- ファイル名は「ID_NOxxxx.csv」(xxxxは本機の端末番号4桁)の形式になっていること。
- CSV形式のファイルで、各行が「カードの固有ID＋半角のコロン(,)＋社員番号」の並びになっていること。

カード情報を登録するときは、あらかじめUSBメモリが接続されていることを確認してください。

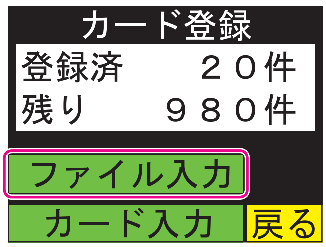
1 カード登録メニューを表示させ、[登録] ボタンを押します。



参照

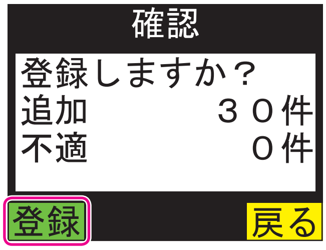
カード登録メニューの表示→「カード登録メニューの表示方法」(69ページ)

2 [ファイル入力] ボタンを押します。



ファイルの確認が開始されます。確認が終わると、「登録しますか？」という文字と、追加および不適の件数が表示されます。

3 [登録] ボタンを押します。



「登録しました。」という文字と、追加および不適の件数が表示されます。

4 [戻る] ボタンを押します。



2 の画面に戻ります。

選択したカード情報の削除

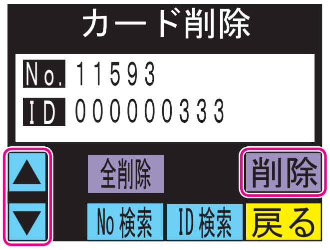
1 カード登録メニューを表示させ、[削除] ボタンを押します。



参照

カード登録メニューの表示→「カード登録メニューの表示方法」(69ページ)

2 ▲▼ボタンを押して削除するカード情報を選択し、［削除］ボタンを押します。



「削除しますか？」という文字と、選択したカード情報が表示されます。

メモ

- 削除するカード情報に対応するカードをお持ちの場合は、［ID検索］ボタンを押し、該当のカードをかざしてください。
- 社員番号がわかっている場合には、［No検索］ボタンを押し、社員番号を入力してカードを検索してください。

3 ［削除］ボタンを押します。



「削除しました。」という文字と、選択したカード情報が表示されます。

4 ［戻る］ボタンを押します。



上記 2 の画面に戻ります。

▶ カード情報の全削除

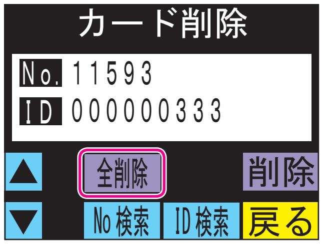
1 カード登録メニューを表示させ、［削除］ボタンを押します。



参照

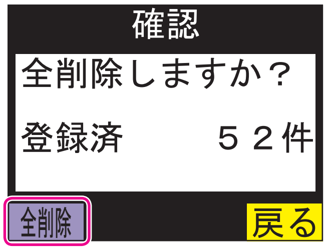
カード登録メニューの表示→「カード登録メニューの表示方法」（69ページ）

2 ［全削除］ボタンを押します。



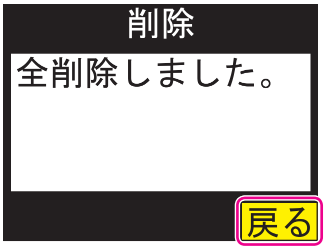
「全削除しますか？」という文字と、削除する件数が表示されます。

3 ［削除］ボタンを押します。



「全削除しました。」という文字と、削除した件数が表示されます。

4 ［戻る］ボタンを押します。

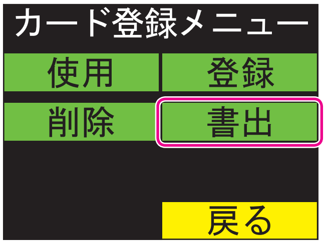


2 の画面（「未登録」と表示）に戻ります。

▶ カード情報の書き出し

登録したカード情報は、USBメモリに書き出すことができます。
あらかじめUSBメモリが接続されていることを確認してください。

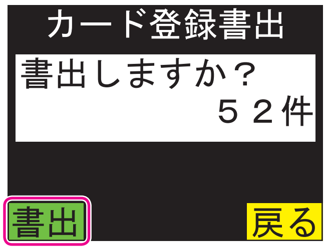
1 カード登録メニューを表示させ、［書出］ボタンを押します。



参照

カード登録メニューの表示→「カード登録メニューの表示方法」（69ページ）

2 ［書出］ボタンを押します。

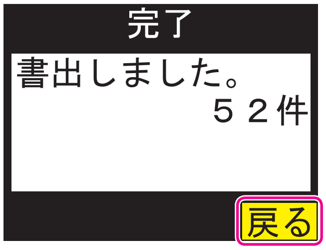


カード情報が書き出されます。書き出しが終わると、「書き出しました。」という文字と、書き出した件数が表示されます。

メモ

カード情報のファイルは、USBメモリ内のフォルダ「ERIC1100」に保存されます。ファイル名は「ID_NO」＋端末番号（4桁）＋「D」＋年月日（各2桁）＋「T」＋時分秒（各2桁）で、拡張子「.csv」となります。

3 ［戻る］ボタンを押します。

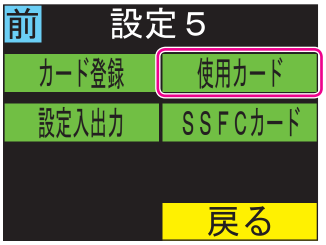


1 の画面に戻ります。

使用するカードの種類を変更するには

使用するカードの種類を変更できます。

1 管理メニューの「設定5」画面を表示させ、［使用カード］ボタンを押します。



参照

「設定5」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 ［<<］［>>］ボタンを押して設定項目を選択し、［確定］ボタンを押します。

設定項目	設定値
MIFARE MAX	当社提供のMIFAREカードを利用する場合に選択します。当社独自フォーマットでエンコードされている社員番号と会社コードを読み取ります。
MIFARE UID	他社提供のMIFAREカードを利用する場合に選択します。カードの固有ID（最大14桁）を読み取り、登録済みのカード情報に対応する社員番号をIDとして処理します。未登録の場合には、カードの固有IDを16進数の文字列に変換してIDとして処理します。会社コードのチェックは行われません。
FeliCa MAX	当社提供のFeliCaカードを利用する場合に選択します。当社独自フォーマットでエンコードされている社員番号と会社コードを読み取ります。
FeliCa SSFC	SSFC対応のFeliCaカードを利用する場合に選択します。SSFCフォーマットの社員番号と会社コードを読み取ります。 ※SSFC対応のFeliCaカードを使用する場合は弊社にご相談ください。
FeliCa IDm	他社提供のFeliCaカードを利用する場合に選択します。カードの固有ID（16桁）を読み取り、登録済みのカード情報に対応する社員番号をIDとして処理します。未登録の場合には、カードの固有IDを16進数の文字列に変換してIDとして処理します。会社コードのチェックは行われません。



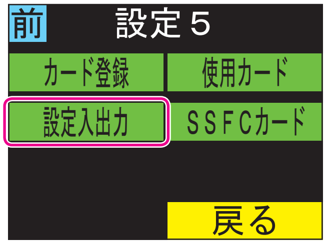
設定が変更されます。

設定情報を入出力するには

本機の設定情報をUSBメモリに書き出したり、USBメモリに保存された設定情報を本機に読み込むことができます。
あらかじめUSBメモリが接続されていることを確認してください。

▶ USB メモリから本体への読み込み

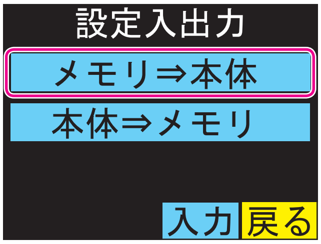
1 管理メニューの「設定5」画面を表示させ、[設定入出力] ボタンを押します。



参照

「設定5」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 [メモリ⇒本体] ボタンを押します。



USBメモリ内のフォルダ「ERIC1100」に保存されたファイル(拡張子「.dat」のファイル)が表示されます。

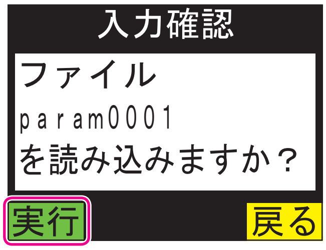
メモ

ファイルが存在しない場合は、数秒後に「設定ファイルが見つかりません」とエラーメッセージが表示されます。

3 [>>] ボタンを押して読み込むファイルを選択し、[実行] ボタンを押します。

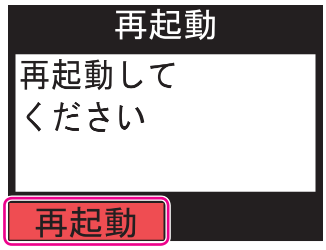


4 [実行] ボタンを押します。



読み込みが完了すると、タッチパネルに「再起動してください。」という文字が表示されます。

5 [再起動] ボタンを押します。

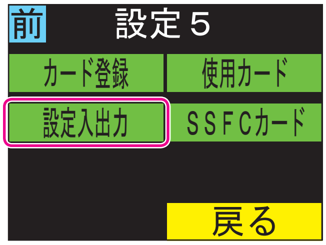


読み込んだ設定に変更され、本機が再起動します。

▶ 本体から USB メモリへの書き出し

本体に設定した全ての情報をUSBメモリに書き出しができます。設定内容のバックアップや2台目へのコピーに使用できます。

1 管理メニューの「設定5」画面を表示させ、［設定入出力］ボタンを押します。



参照

「設定5」画面の表示→「設定画面の表示方法」（47ページ）

2 ［本体⇒メモリ］ボタンを押します。



3 書き出すファイル名を入力し、［実行］ボタンを押します。

必要に応じて［切替］ボタンを押してください。「数字→英字（大文字）→英字（小文字）」の順にボタンが切り替わります。

［<<］［>>］ボタンを押すと、カーソルが移動します。

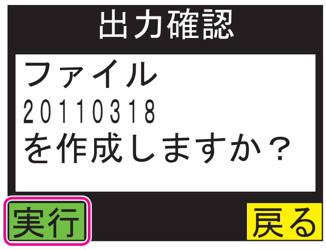
［クリア］ボタンを押すと、カーソル位置の文字が消去されます。



メモ

設定情報のファイルは、USBメモリ内のフォルダ「ERIC1100」に保存されます（拡張子「.dat」のファイル）。

4 ［実行］ボタンを押します。



設定情報がUSBメモリに書き出されます。書き出しが完了すると、タッチパネルに「ファイル○○○を作成しました。」（○○○はファイル名）という文字が表示されます。

メモ

同じ名前のファイルがUSBメモリの保存先に存在する場合には、上書きするかをたずねるメッセージが表示されます。上書きしてもよい場合は［実行］ボタンを押してください。

SSFC カード使用の有無を変更するには

SSFCカードを使用する場合に、SSFCカードを登録したり、カードごとに使用の許可／禁止を設定することができます。
※SSFCカードを使用する場合は弊社にご相談ください。

SSFC カードの登録

1 管理メニューの「設定5」画面を表示させ、[SSFCカード] ボタンを押します。



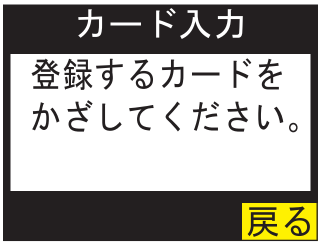
参照

「設定5」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 [登録] ボタンを押します。



3 登録するSSFCカードをかざします。



該当のSSFCカードの使用を許可する設定で登録されます。

登録済 SSFC カード使用の許可／禁止

1 管理メニューの「設定5」画面を表示させ、[SSFCカード] ボタンを押します。



参照

「設定5」画面の表示→「設定画面の表示方法」(47ページ)

2 ▲▼ボタンを押して使用を許可／禁止するSSFCカードを選択し、[許可／禁止] ボタンを押します。

[許可／禁止] ボタンを押すたびに、許可と禁止の設定が切り替わります。



選択したSSFCカード使用の許可／禁止が変更されます。

メモ

カードの固有IDがわかっている場合には、[検索] ボタンを押し、カードの固有IDを入力してカードを検索してください。

第 4 章

付録

エラーメッセージが表示されたときの対処方法と
本機の仕様について説明します。

章 目次

エラーメッセージ

エラーメッセージ	発生のタイミング	考えられる原因	対応
起動エラー。	電源ON時	基板やユニットの故障が考えられます。	修理が必要です。保守契約を行っているお客様は契約窓口まで、それ以外のお客様は弊社SEまたはマックスサービスファクトリー㈱にご連絡ください。
鍵を閉めて下さい。	全般	鍵が開いています。	鍵をしっかり閉めてください。
ＵＳＢメモリにアクセスできません。	全般	USBメモリへの入出力中に抜かれた可能性があります。	USBメモリをしっかりと挿してください。
このボタンは現在無効です。 有効時間帯 ５：００－２３：００	ICカードによる打刻時	ボタンに有効時間帯が設定されています。	ボタンの有効時間帯以外はこのエラーが表示されます。有効時間帯の変更は設定ツールで可能です。
このカードは受付できません。	ICカードによる打刻時	登録されていないカードが打刻されました。	カード登録を行ってください(69ページ)。
無効な日時です。 入力し直してください。	日時入力時	ありえない日時が入力されています。	「設定パラメータ」(83ページ)の設定範囲内で入力してください。
選択した日付の打刻はありません。	打刻確認時	打刻がない日を選択されました。	打刻がある日を選択してください。
この操作は管理者権限がないので、できません。	管理者権限カードを要求時にかざす。またはID入力したとき。	管理者登録されていないカードをかざした、あるいはIDを入力しています。	管理者登録されているカードをかざすか、IDを入力してください。
パスワードが違います。	管理者権限でパスワードを入力するとき。	パスワードが異なっています。	正しいパスワードを入力してください。
ＵＳＢメモリの空き容量不足。	USB出力時	出力するファイル容量分の残り容量がありません。	容量の充分なUSBメモリを挿してください。
ＵＳＢメモリが装着されていません。	USB出力時	USBメモリが挿されていません。	USBメモリをしっかりと挿してください。
対象となるデータがありません。	データ書出し時	書き出す打刻データがありません。	打刻データがある期間を指定してください。
上書きできません。	データ書出し時	上書き禁止となっている可能性があります。	USBメモリの上書き禁止を解除してください。
失敗しました。	データ書出し時	USBメモリが壊れている可能性があります。	壊れていないUSBメモリを挿してください。PCのスキャンディスクで破損箇所を修復してからUSBメモリを挿してください。
このＩＤは既に登録されています。	管理者ID入力時	既に管理者登録されているIDを登録しようとしています。	既に管理者登録されているIDと異なるIDを入力してください。
時間帯が重複しています。	自動打刻確定時	出勤時間帯と退勤時間帯が重複して設定しようとしています。	出勤時間帯と退勤時間帯を重複しないように設定してください。
開始時刻と終了時刻が重複しています。	自動打刻確定時	開始時刻と終了時刻が重複しています。 例) 12:00〜12:00	開始時刻と終了時刻が重複しないように設定してください。
無効なアドレスです。	アドレス記録時	ありえない値が入力されています。	「設定パラメータ」(83ページ)の設定範囲内で入力してください。

エラーメッセージ	発生のタイミング	考えられる原因	対応
ファイルがありません。	カード登録ファイル入力時	カード登録用のCSVファイルが見つかりません。	「カード情報のファイル入力」(71ページ)を参照してください。
ファイルが異常です。	カード登録ファイル入力時	カード登録用のCSVファイルのフォーマットが正しくありません。	「カード情報のファイル入力」(71ページ)を参照してください。
登録するデータがありません。	カード登録ファイル入力時	追加登録するデータがCSVファイルに存在しません。	「カード情報のファイル入力」(71ページ)を参照してください。
容量不足です。 不用なデータを削除してください。	カード登録入力時	カード登録の上限(1000件)を超えました。	不必要なカードIDを削除してください。
登録済みです。	カード登録入力時	既に登録されているカードを登録しようとしています。	未登録のカードをかざしてください。
見つかりません。	カード登録削除時	カード登録0件で削除をしようとしています。	登録を1件以上行ってから削除してください。
登録がありません。	カード登録検索時	検索したカード、社員番号が存在しません。	カードID、社員番号が間違っていないか確認してください。
設定ファイルが見つかりません。	設定入出力読込時	USB内に設定ファイルが見つかりません。	「設定情報を入出力するには」(75ページ)を参照してください。
設定ファイルではありません。	設定入出力読込時	設定ファイルのフォーマットが正しくありません。	「設定情報を入出力するには」(75ページ)を参照してください。
このＩＤは登録されていません。	SSFCカード検索時	検索したカードIDが存在しません。	カードIDが間違っていないか確認してください。
このカードは登録できません。	SSFCカード登録時	CLコードが存在しません。	弊社SEまでご連絡ください。
このカードは既に登録されています。	SSFCカード登録時	既に登録されているカードを登録しようとしています。	未登録のカードをかざしてください。
登録件数が上限に達しています。	SSFCカード登録時	登録件数が上限(4096件)を超えました。	不必要なカードIDを削除してください。
古いカードです。登録できません。	SSFCカード登録時	登録済みIDで発行回数が少ないカードを登録しようとしました。	登録済みIDの場合は発行回数が多いカードのみ登録可能です。

本体仕様

		タイムドック ER-IC1100 定価233,000円
個人認証	入力媒体	非接触ICカード
	媒体仕様	MIFARE、FeliCa
ユーザーI/F	表示部	3.5インチ 320×240ドットカラーTFT液晶表示器(バックライト付き) 輝度8段階調節可能
	データ入力	タッチパネル(感圧式)
	音声	有(音量8段階調節可能)
通信I/F	LAN(Ethernet)	10BASE-T／100BASE-T(TCP/IP)
	シリアル通信	RS-232C(モデム用)
	通信プロトコル	マックス標準プロトコル
データ容量	使用人数(1台当たり)	無制限 カード登録で使用の場合は最大1000カード
	打刻データ	最大32000件
	照会メッセージ	有(個人宛のメッセージ送信機能)
時報出力	接点出力	1回路(無電圧メイク接点)
	接点容量	AC277V 3A／DC30V 5A(抵抗不可)
本体・環境	時計方式	水晶発振方式　月差±15秒 NTPサーバに接続して自動補正機能有
	時刻保持機能	工場出荷時から累計停電3年間
	外部記憶装置	USBメモリ
	環境条件	温度0～40℃　湿度10～85%　ただし結露なきこと
	消費電力	通常5W以下、最大10W以下
	電源	AC100V±10%　50/60Hz
	外形寸法(mm)	W136×D58×H203mm
	質量	約0.9kg

設定パラメータ

画面	ボタン名	設定項目	設定範囲	初期値
設定1	現在日時	日付	2001/1/1～2099/12/31	出荷時設定
		時刻	0：00～23：59	出荷時設定
		12/24H	12時間制／24時間制	12時間制
	音量	－	無音を含んで8段階(0～7)	4
	表示	濃度	8段階	5
		照明	1～99分／常時点灯	5分
	タッチパネル	－	－	出荷時設定
設定2	管理者ID	－	英数字で最大20種／なし	なし
	パスワード	－	数字で1～10桁／なし	なし
	管理者権限	－	制限なし／管理者／パスワード／管理者＋パスワード	管理者＋パスワード
	端末番号	－	1～9999	1
	会社コード	－	英数字で1～8桁／なし	なし
	打刻編集	－	使用しない／管理／管理＋一般	使用しない
設定3	打刻チェック	前後関係	する／しない	しない
		連続打刻	1～10分／しない	2分
	カード忘れ	－	する／しない	する
	バックアップ時刻	－	0：00～23：59	3:00
	自動打刻	出勤	0：00～23：59	なし
		退勤	0：00～23：59	なし
設定4	モデム	ダイヤル方式	トーン／パルス	トーン
		通信速度	9,600／12,000／19,200／38,400／57,600／115,200	38,400
		データ長	7／8	8
		パリティ	なし／偶数／奇数	奇数
		ストップビット	1／2	1
	LAN	IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx:0～255)	192．168．11．1
		サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx:0～255)	255．255．255．0
		ゲートウェイアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx:0～255)	192．168．0．1
		DNSI	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx:0～255)	なし
		DNS2	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx:0～255)	なし
	通信方式	－	モデム／LAN	LAN
	時刻合せ	NTPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx (xxx:0～255)	なし
		取得時刻	0：00～23：59	3：30
	本体情報	－	－	－
設定5	カード登録	使用	する／しない	しない
		登録	社員番号：英数字で1～16桁	なし
	使用カード	－	MIFARE MAX／MIFARE UID／FeliCa SSFC／FeliCa MAX／FeliCa IDm	MIFARE MAX
	設定入出力	メモリ⇒本体	－	－
		本体⇒メモリ	－	－
	SSFCカード	－	－	なし

保証書とアフターサービス

保証書について

- 保証書は付属されています。
- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。
- 保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、弊社営業所、またはマックスサービスファクトリー(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについて

- お買い求めの販売店、または弊社納入設置担当SE、弊社営業所、マックスサービスファクトリー(株)にご相談ください。
- 保守契約を行っているお客様に関しては、契約窓口担当までご相談ください。
- 本機は修理の際、全てのお客様に対して、センドバック方式(持ち込み修理)のみとなります。出張修理は行っておりません。また、修理期間中の代替機貸し出し、修理期間中のデータ入力、修理機内のデータ保証などは行っておりません。ご了承ください。

使用カードのお買い求めは

新規、追加の際にはお買い求めの販売店、または弊社営業所、弊社SEスタッフにご相談ください。

MAX®
マックス株式会社

本社オフィスプロダクツ営業部　〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6　TEL (O3)3669-8108（代）
ホームページアドレス:http://www.max-ltd.co.jp/op/

2011.9 Vol.1